

# 「知らない人から連絡 来た」中高生の3割

11.11 鳥取で「ケータイ・ネットとの  
つきあい方フォーラム」

本年度の「ケータイ・インターネットとのつきあい方フォーラム」(ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会、鳥取県教委主催、新日本海新聞社など後援)が8日、鳥取市尚徳町のとりぎん文化会館で開かれた。県教委が初めて全県で実施したアンケート結果が報告され、知らない

人から連絡が来たというトラブルの経験は

下の危険から  
大人の取り組み



職員を報告するアンケート結果を報告する  
=8日、鳥取市尚徳町のとりぎん文化会館

中・高校生ともに約3割に上っていることが判明した。

アンケートは県内全学校の小6、中2、高2の各学年から1クラスを抽出。5千人の児童・生徒と保護者5千人を対象に、9月に実施した。

携帯電話の所持率は小学生が約10%、中学生が約18%で全国平均よりも低かったが、高校生は約95%と全国並みに高かった。

携帯電話によるトラブルは中・高校生に多く、最も多いチェーンメールでのトラブルは4割前後の生徒が経験。友達のメールアドレスや写真などを本人に無断で他人に教えたり、サイトに掲載した経験や、他人の悪口を掲示板やメールで書き込んだ経験を持つ子どもも1〜5%いることが分かった。